

地域経済を活性化させる取り組みを！

木下議員 企業誘致が難しい状況で、地元企業のしつかりとした育成策が必要だと思いが、地元企業が行なう増設や設備投資への支援策についてどのようなものがあるのか伺う。また、消費税増税や円安などで落ち込んだ個人消費を刺激するために、地域経済活性化を目的とした2割程度の補助を組み込まれた地域商品券の発行をどう考えるのか。

不嶋市長 企業支援として、運転資金や設備投資に対する利子補給、保証もやっている。増設投資5百万円以上で雇用3人以上の計画で投資額の10%を助成し、食品加工施設の場合は3百万円以上で対応している。市内に本社を置く企業には、雇用や税の面においても支援していくことが大切だと考え、今後しっかりと検討していきたい。また、商品券については、国が検討しているところでもあるため、市単独での取り組みは難しいものがあるが、国がそのような施策を出した時にはそのメニューを見極めながら速やかに対応していきたいと思っている。

- その他の質問項目
- 七尾城CGの活用について
- 平成27年度青柏祭でか山について



現在ある地域商品券

公共施設の固定資産台帳を整備すべき！

岡部議員 七尾市において公共施設の更新は、今後の財政の硬直化を招きかねない。今後10年間で必要な施設はどれか、建て替えや改修すべき施設はどれか、現在保有している施設の稼働率や維持管理費などを考慮して、目的、用途の見直しや廃止など、施設の在り方を検討できる情報を盛り込んだ固定資産台帳を整備すべき。そこで、台帳と連動した公共施設マネジメント白書を作成し、公共施設の見直しを行うべきと考えるが見解を伺う。

不嶋市長 人口減少により財政状況がますます厳しくなるなか、今ある施設を更新・廃止にするのか、または用途の見直しをするのかなど、適正配置・適正管理を検討していくことが重要である。その前提として、国から地方公共団体に対し、平成29年度までに統一的な基準による地方公会計を整備し、固定資産台帳の整備を促進している。七尾市でも、この手引きをもとに固定資産台帳の整備の方針や期間を検討しているところ。公共施設マネジメント白書は、この固定資産台帳の整備状況を見据えて、今後しっかりと検討していく。

- その他の質問項目
- マイナンバー制度について
- 国民健康保険税の収納率について



七尾市役所

まずは取り組みの周知が重要！

高橋議員 コミュニティセンターの運営主体となる地域づくり協議会、町会連合会、公民館などに、コミュニティセンター化によって何がどうなるのか、どのように変わるのかを地域住民の方々に知ってもらうことは重要。市民が主役のまちを目指す七尾市にとってコミュニティセンターを作ることは、市民の皆さんがまちづくりに参画するための舞台を整えることになる。このことを広く知ってもらう取り組みが今後重要だと思いが見解を伺う。

登美市民生活部長 現在、市内各地区の関係者に順次説明を行っている。1月から地域コミュニティへの理解を深める市民講座を行う予定。また、コミュニティセンター化に向けての情報や地域の取り組みなどは、広報「七尾こころ」やホームページなどに随時掲載して広報する予定。一方で地域の方々においても、コミュニティセンター化に向けた検討内容や取り組み状況など、地域がどう変わっていくのか住民の方々にもお知らせしていただきたいと思う。

- その他の質問項目
- 移住定住促進について



事前説明会の様子

安全協定に向けて北陸電力の対応は？

儀貝議員 志賀原発の安全協定見直しをめぐり、北陸電力と七尾市、羽咋市、中能登町は2年7カ月ぶりに協議が再開。立地自治体の志賀町と同等の権限を要求し、北陸電力と実務者協議を開き、論点を整理していくことになっているが、再稼働への同意見に対する北陸電力の対応はどうだったのか伺う。また、第2回協議会後に南副市長が「平行線をたどっても仕方がない」とコメントしていたが、その意味についても伺う。

- その他の質問項目
- 防災訓練について
- 子どもの医療費について
- 保育料について
- 水道料について
- 米価暴落について
- 林へニヤ問題について



志賀原発(写真提供:北陸電力)

七尾城跡の史跡調査および活用は？

永崎議員 先般発表した七尾城復元CGは素晴らしいもの。七尾城復元について、調査が的確に行われれば、七尾城の姿がさらに見えてくると考える。今後、調査に必要な土地の公有化について、スケジューリングや調査の実態の見直しについて伺う。また、歴史のスポットとして七尾城跡の全国へのアピール対応と交流人口対策としてのエコツーリズムの考えを伺う。

不嶋市長 CGで描き出される壮大な全容や姿は今までは想像出来ず、感動と驚きである。史跡調査の前提の公有化には着手しているが、本丸周辺中心部1.7ヘクタールの18%が未買収。今後しっかりと公有化に努める。平成27、28年度にかけて、国・県・専門家からなる「七尾城跡保存管理計画策定委員会」を組織し、七尾城の保存と活用に向けた計画を策定し取り組む。そして、発掘調査や文献調査で事実を明らかにしていく。また、七尾城跡、七尾の自然、歴史、文化の体感、七尾で学べる一押し観光素材として力強く発信していく。今後五十年、百年プロジェクトとして魅力的な七尾に残った最大のプロジェクトだと思っている。

- その他の質問項目
- 定住策と交流人口対応について
- 力キ殻処理施設等について
- 防災士の育成等について



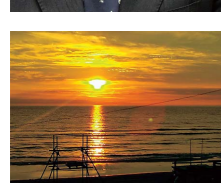
七尾城跡

写真を生かした観光振興策を！

佐藤議員 能登半島の写真スポットをつないで、風景街道として観光ルートをアピールできるのでは。七尾湾から見る日の出は本当に素晴らしい。また、羽咋や輪島の方から見る日本海に沈む夕日も美しい。また、四季を通していろいろな場所や見方で風景も変わる。このような景観を生かして、全国の写真愛好家を対象に写真展を開催し、全国から能登半島に、そして七尾市に誘客をしてみたいと思いが見解を伺う。

不嶋市長 七尾湾から見る日の出は、立山連峰ときらめく海を前にとても素晴らしいことは誰もが認める。七尾市では七尾ビュースポット写真に短歌を添えた七尾百景写真集「七尾万葉集」を作ったり、能登の各市町でも似たような取り組みを既にしたりしている。その他にも、世界農業遺産活用実行委員会が主体となって能登の里山里海に係る写真を選び、ポータルサイトの中で紹介もしている。このような活動を能登半島広域観光協会や活用実行委員会などに持ち上げ、オール能登で取り組んでいきたいと思っている。

- その他の質問項目
- 当初予算編成について
- 看護師の勤務体制(体系)について
- 人材育成について



日本海に沈む夕日